

# 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名に 横山市長は「署名をする」と答弁

## 井之川博幸議員の一般質問に対して



市役所前にあるモニュメント

3月7日、沼田市議会で行われた本会議で横山市長は、7月7日に国連総会で採択された「核兵器禁止条約」の早期締結を求める「平和首長会議」の署名運動に協力し、「署名する」と述べました。井之川博幸議員の一般質問に対する答弁。

また、北朝鮮やアメリカによる核戦争の危機に対しては「憂慮」している、「情勢を注視していきたい」と述べました。

沼田市は、昭和61年に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、平成18年「日本非核宣言自治体協議会」に、平成20年に「平和首長会議」に加入しています。



井之川博幸市議

## バイオマス産業都市構想で 再生可能エネルギー自給率100%をめざそう！

沼田市の面積の80%は森林です。木質バイオマスは豊富にあります。井之川議員は、燃料になる「木質ペレット」をつくる技術はこの沼田市にもあるはずで民間の業者を支援してぜひ木質ペレットづくりにとりくむことが必要であり、エネルギーと食糧が両方とも自給率100%が全国で39自治体。群馬では長野原町、嬭恋村、片品村の3自治体、片品村ができることを沼田市ができないことはない」と強く訴えました。

## 福島原発事故から7年 井之川議員－柏崎刈羽原発の再稼働に反対するよう要求 原発の危険性は危惧している－横山市長

井之川博幸議員は、福島第1原発事故から7年、いまだに2万人以上の避難者がいること、廃炉にはあと40年以上かかることなどを示し、元首相2人が顧問を務める「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」が、「基本法案」を発表するなど、原発反対の運動が大きく前進していることを紹介し、原発に反対



し、100km圏内にある東電柏崎刈羽原発の再稼働に反対するよう求めました。

市長は、「原発の危険性に危惧している」と答えました。

## 再生可能エネルギーを活用したまちづくりを

### 沼田市関係の太陽光発電設備は現在16か所



佐山町に設置した沼田市の太陽光発電施設

井之川博幸議員は、沼田市の公共施設への再生可能エネルギー活用の現状と拡充について質しました。

市長は、「公共施設や既存施設の改修時には積極的に再生可能エネルギーを設置する」と答え、「テラスぬまたの屋上に太陽光発電設備を整備する予定」と答えました。

井之川議員は、テラス沼田のほかに利南運動広場、新学校給食センター、市民体育館、新武道館などにも整備する必要があると要求しました。

2018年3月11日 No.871

# いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料